



アクアマリンふくしま初となる人工育雛に成功 絶滅危惧種ウミガラスの子どもを公開

寒い北の海で生きるウミガラスの姿を見ることができる施設は日本で2か所だけ

アクアマリンふくしまでは「北の海の家獣・海鳥」コーナーで今年生まれたウミガラスの子どもの展示を開始しましたのでお知らせします。



ウミガラス成鳥



ウミガラス幼鳥

- 1 公開日
2020年 8月24日 (月)
- 2 場所
アクアマリンふくしま本館 3階「北の海の家獣・海鳥」コーナー
- 3 人工保育データ
父親
2001年7月28日生まれ (19才) (体重 750g)
2007年1月24日 アクアマリンふくしま来館
母親
2002年7月15日生まれ (18才) (体重 820g)
2007年1月24日 アクアマリンふくしま来館
産卵月日 2020年6月5日 (金)
朝8時頃発見～発見次第、卵を回収し人工ふ化に切り替え
孵化日 2020年7月11日 20時頃 (体重67g)
- 4 備考
アクアマリンふくしまでは2007年1月からウミガラスの飼育展示をしています。2012年に初めての産卵を確認しましたが、孵化にはいたりませんでした。それ以降ほぼ毎年産卵は確認されていますが、親が抱卵を放棄するなどしてこれまで育成することができませんでした。昨年より産卵確認後に卵を回収して、人工ふ化に切り替えています。展示ができるまでに育雛できたのは今回が初めてです。

【ウミガラス】

分類：チドリ目ウミスズメ科

全長約43cm。太平洋北部および大西洋北部に分布する海鳥です。鳴き声が「オロローン」と聞こえることから「オロロン鳥」とも呼ばれています。日本での繁殖期は初夏、産卵数は1つで、巣を作らず海岸の崖や岩棚などに直接卵を産みます。現在自然界で繁殖が確認されているのは日本国内では北海道の天売島のみで、環境庁のレッドデータブックでは絶滅危惧 I A類に分類されています。

現在日本で展示しているのは、当館の友好締結館である東京都葛西臨海水族園と当館のみです。